

- 【出席率】 会員63名中51名
 【先々週の出席率】 86. 44%
 【ゲスト】 地区R財団副委員長
 後藤隆生様(新潟南)
- 【ビジター】 三条北より 中條耕二君
 【先週のメイクアップ】
 11/6 地区国際奉仕委員会(新潟)へ
 丸山征夫君
 11/8 三条東へ 天田 匡君 馬場一敏君
 長谷川晴生君 飯山勝義君 佐々木常行君
 佐藤秀夫君 山村 登君
 11/9 吉田へ 坂井範夫君
 11/10 アシスタントガバナー研修会へ
 馬場信彦君 葦澤喜一郎君 野島廣一郎君
 佐藤栄祐君 野崎正明君 大久保秀男君
 鈴木 武君 長谷川晴生君 松崎孝史君
 馬場一敏君 佐藤秀夫君 齋藤嘉一君



会長挨拶

坂本 洋司 会長

ご挨拶を申し上げます。

本日は、「ロータリー財団月間」でございます。地区ロータリー財団副委員長の後藤隆生様に卓話をお願い申し上げ、お越しいただいております。後藤様、よろしくお願い致します。また、野崎委員長にはお骨折りいただき、有難うございました。

先週は、「秋の味覚例会」で松木屋さんのご自慢のお料理を堪能されたことと思います。親睦委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

愈々、菊薫る季節となり、結婚式のシーズン到来でしょうか、先月は2組のお祝いにご招待いただき、初々しい人生の船出をお祝い申し上げて参りました。また、毎月17日もご招待いただいております。

先般、ある雑誌に「結婚費用の総額」なる見出しが載っておりまして、結婚後1年未満の650組のご夫婦を対象にみずほ銀行が「結婚費用」に関してアンケート調査した結果が記されておりましたのでご紹介致します。

*結婚時の平均年齢

夫 28. 0歳 妻 25. 9歳

*結婚のための総費用

865万円(この中には結納金及び結納返しは含まれていないそうです。勿論、この調査はサラリーマンが対象ですので皆様のご家庭とはかなり違うと思います)

*費用の項目

挙式・披露宴が45%でトップ、続いて新生活の準備に35%、新婚旅行に10%と続くそうです。

*資金捻出

親の援助という回答が、夫が66%、妻が70%だそうです。援助の額は、双方合わせて600万円。夫と妻が自分の貯金から結婚費用に当てる額の合計は、300万弱とのことで、結婚も親がかりの、親を当てにしている、若い夫婦像が見え隠れしている感じがしたわけでございます。



国際ロータリー会長

ウィルフリッドJ. ウィルキンソン [カナダ]

第2560地区ガバナー 渡辺 敏彦 [新潟南]

第4分区AG 藤井 三明 [分水]

会 長 坂本 洋司

幹 事 船久保孝志

S A A 大 溪 秀 夫

事 務 局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫本店内

☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL <http://www.sanjo-minami.jp>

横組みP5～ 「ロータリー財団」特集

ロータリー財団は、1917年、アメリカ・ジョージア州アトランタで開催された国際大会で、アーチC. クランフが「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で、慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何か良いことをしようではないか」と提案したことに始まったそうです。

11月の月間に因んで、ロータリー財団を利用して取り組んだ活動が紹介されています。

私達一人ひとりの寄付が大きな実を結んでいることに誇りを感じました。どうぞ一読下さい。



～ 11月12日 25,000円 今年度累計 411,000円 ～

R財団副委員長

- 後藤君** 本日は、ロータリー財団月間に卓話に呼んでいただきまして有難うございます。三条南クラブの皆様にとりだきのためになるかわかりませんが、一生懸命お話したいと思っておりますので宜しくお願い致します。
- 三条北RC 中條君** 南クラブさんへ久しぶりにお伺いさせていただきました。坂本会長さん始め会員諸兄のご活躍に敬意を表しております。いよいよ馬場ガバナー年度近くなりました。本日の卓話者の後藤さんに感謝します。財団はロータリーの看板です。
- 坂本君** 本日はロータリー財団月間です。地区財団副委員長、後藤隆生様から卓話をいただくことになっております。後藤様宜しくお願い致します。
- 船久保君 野崎君** 地区ロータリー財団副委員長 後藤隆生様、卓話宜しくお願い致します。今月はロータリー財団月間です。本日の卓話は地区財団副委員長の後藤さんをお願い致しました。よろしく宜しくお願い致します。
- 田代君** ロータリー財団月間に際して、地区財団副委員長の後藤様の卓話をいただき有難うございます。
- 馬場(信)君** 11/10(土)ロイヤルホテルで馬場年度のアシスタントガバナー会を開催しました。関係の皆様有難うございました。また、本日、荷物になって恐縮ですが、私から心ばかりの特製のネクタイをお届けしました。ご愛用下さい。後藤財団副委員長を歓迎致します。
- 鈴木(武)君** 久しぶりのホーム例会です。本日は地区財団委員長の後藤さん、わざわざ有難うございます。
- 若井君** 金融庁の検査も無事終了、会場の件ではご迷惑をおかけしてすみませんでした。
- 渡邊(久)君** 兄弟旅行に出かけ、上州の紅葉を楽しんできました。
- 佐藤(嘉)君** 昨日、来週結婚する長女の荷送りをしました。父親として複雑な心境です。
- 吉田(秀)君** 来週は地区大会です。茨城・栃木の地区大会に出席してから幾十年ぶりだろうか？近年は出席していなかったのだなあ・・・
- 滝口君** 11時にロータリーに向かっていたらすごい雨にあう。五十嵐川の水はと思わず覗いて見る。12時、今、日が射している。有難い。
- 田中(久)君 野中君** 日増しに寒さがつのって参りました。風邪などひかないよう注意しましょう。本日の結婚記念日の花が会社に届き、ビックリしました。本年で24年目でした。
- 大溪君** 乳癌検診のため早退します。
- 安達君、草野君、熊倉君、田中(悌)君、銅冶君、平松君** BOXに協力致します。
- 荒澤君** BOXにご協力有難うございました。

「ロータリー財団月間に因んで」

地区ロータリー財団副委員長
後藤 隆生 様（新潟南RC）

三条南ロータリーの皆様こんにちは、ロータリー財団委員会副委員長をさせていただいております後藤と申します。まずをもって次年度馬場ガバナーエレクト年度本当にご苦勞様です。

今日はこの三条南ロータリークラブに卓話として呼んでいただきましてありがとうございました、と同時に大変後悔しております。何故なら、馬場ガバナーエレクト率いる三条南クラブは寄付状況は大変良く、財団のことは皆様十分お知りになっているので、私のようなものが出る隙間がございません。大変後悔しておりますが、野崎さん、田代さんからともかく頼むと言われましたので、私としては断れませんので「はい」と言ってしまった次第です。

またこの度、馬場ガバナーエレクトには、1万ドルご寄付頂きましてメジャードナーになられました。本当に有難うございます。



何はともあれ30分あまり皆様にはご参考にならないかも知れませんがよろしくお願ひします。

ロータリー財団委員会とは何をしているんだろう、と素朴に思われる方がいると思います。

私は、現在ロータリー歴5年目です。2年前に突然、時の会長、現地区幹事をしていす山本さんに呼び出されロータリー財団委員会に出向してくれと言われ、その時は、クラブでは米山奨学委員長をやっていた時でしたから大変戸惑いました。何をやっている委員会かよく分からなかったからです。米山奨学委員会はわりとわかり易いのですが、財団委員会は良くわからないというのが一般的なロータリアンだと思います。

なぜわからないのかと申しますと、まず寄付がドル建てというところから始まると思います。寄付をいっぱいしますと、米山奨学委員会ですと「米山功勞賞」というものがもらえますが、ロータリー財団ですと「ポールハリスフェロー」とかなるのでこれだけでも戸惑います。

出向した時ロータリー財団ハンドブックを頂きました。カタカナやローマ字英語が多く、まったくわかりませんでした。ましてハンドブックは毎年変わるので慣れた頃、また勉強しなければなりません。

ロータリー財団委員会は寄付を集める委員会と大半の方は思われていると推察します。実際はその通りなのですが大切なことは皆様からの寄付をどのように使っているか、そして財団のプログラムをクラブの会員にいか理解していただくかだと思います。

財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解の平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。

ロータリー財団のプログラムには

- I. 人道的プログラム II. 教育的プログラム III. ポリオ・プラスプログラム

I. 人道的プログラムには

- ① マッチンググラント ② 地区補助金
③ ボランティア奉仕活動補助金 ④ 3-H 補助金 があります。

① マッチンググラント

名称通り、2カ国以上にあるロータリークラブが協力し合い、それを補うのがマッチンググラントです。現在ロータリー財団最大のプログラムになりつつあります。財団補助金総支出の3分の1強を占めています。マッチンググラントは世界奉仕の中で一定の条件、人道的奉仕であり、財団からの補助金額5千ドル以上などが整いますと財団の補助が受けられます。

② 地区補助金

2003年7月から始まりました新しい補助金です。財団は国際奉仕と思われていましたが国内の地域社会でも奉仕プロジェクトを実施できるようになりました。近年は2560地区内でも知られるようになり、多くのクラブからも申請があがるようになりました。

③ ボランティア奉仕活動補助金

マッチンググラントや地区補助金はプロジェクトに授与されますがボランティア奉仕活動補助金は、ロータリアン、その配偶者、ローターアクター、ロータリー財団学友など個人またはグループに授与されます。日本ではなじみの薄いプログラムですが海外でボランティア活動をする場合旅費や食事代が支給されます。

④ 3-H 補助金

保健・飢餓追放及び人間性尊重プログラムです。2年から4年にわたる大規模なプロジェクトに資金を提供するものです。1978年以来、75カ国の280件以上のプロジェクトに7,400万ドルが授与されています。

II. 教育的プログラム

- ① 国際親善奨学金
- ② 世界平和フェローシップ
- ③ 研究グループ交換 (GSE)
- ④ 大学教員のためのプログラム
- ⑤ ロータリー平和及び紛争解決研究プログラム があります

① 国際親善奨学金

1947年に初めて他国で学ぶ18人の奨学生を派遣した最初のプログラムです。今までに37000人以上の奨学生を派遣しマッチンググラントと並ぶ大きなプロジェクトです。しかし近年DDF（地区財団活動資金）の配分が少なくなり急激に減少しています。

② 世界平和フェローシップ

1996年にポール・ハリスの没後50周年にちなみロータリー大学の構想を審議し、紛争の解決と平和における国際問題を研究するために1999年より8つの大学と提携し実行することが承認されました。3～55年の職歴を必要とし、2年間大学院で学ぶことになっています。日本では国際基督教大学が選ばれており、ホストエリア地区として東京、神奈川、埼玉、千葉の7地区がサポートしています。

③ 研究グループ交換 (GSE)

ロータリアンでない専門職務チームとロータリアンのチームリーダーを選び、異なる国の地区とチームを交換するプロジェクトです。GSEで大切なことはチームメンバーがホスト地区で同じ専門職に従事する人と会うことが含まれ、異なる文化の中で自分の職業がどのように遂行されているのかを見る機会に恵まれることです。

④ 大学教員のためのプログラム

自国以外の低所得国の大学で教鞭をとる優秀な教員に授与されるものです。日本では今まで3件だけです。

⑤ ロータリー平和及び紛争解決研究プログラム

3ヶ月の短期集中研修を年2回タイ国のチュラロンコン大学が提供し、毎回30名のフェローが選ばれます。

III. ポリオ・プラスプログラム

ポリオ・プラスプログラムはいよいよ最終局面に入りました。ロータリー財団はポリオが撲滅されるまで他のプログラムには手を出さないと決めていますが一瞬も早く終焉することを願っています。ポリオ・プラスへの寄付金はワクチン購入のために使われていますが、ワクチンだけでは予防接種はできません。全国一斉予防接種日に子供を集める広報活動、ボランティアへの活動支援、ワクチンの輸送費や保存のための冷蔵庫も必要になります。このような費用を支えるのがポリオ・プラス・パートナーへの寄付です。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実か どうか

III 好意と友情を深めるか

II みんなに公平か

IV みんなのためになるか どうか